

### 健康診断の検査項目について Vol.16

健康診断でよく行われる検査項目について、その働き・基準範囲・疑われる疾患などを解説していきます。

#### 【がんの手がかりを得る検査】

がん細胞がつくる特徴的な物質の量や種類を調べて、存在の手がかりにする検査です。

#### ●腫瘍マーカー

がんの種類	特に有用性が認められる主な腫瘍マーカー
肝がん	α-フェトプロテイン(AFP)、PIVKA-IIなど
膵がん	CEA、CA19-9など
肺がん	CEA、SCCなど
前立腺がん	PSAなど
子宮がん	SCCなど
卵巣がん	CA125など

藤枝健診センター健診検査課主任 高田 雅紀

### ハンセン病人権マンガ「まはあの島」(すいれん舎 著者 古林海月さん)に出会って

静岡事務所 杉山 清夏

当協会は静岡県健康福祉部疾病対策課からの依頼を受けて、ハンセン病療養所入所者里帰り事業の事務を受託しています。ハンセン病療養所入所者里帰り事業とは、静岡県出身の入所者に故郷である静岡県に里帰りしてもらうことで、長年に亘って苦勞を強いられてきた入所者の福利厚生を図るものです。また、ハンセン病に対する県民の理解を深めるための事業でもあります。

当会では毎年職員が里帰り旅行に同行し、二泊三日の短い期間ですが入所者の方々と交流しています。これまでに多くの職員が参加しており、私も現在はこの事業の事務を担当していますが、新入職員時代に里帰り旅行に参加しています。

さて、私が出会った読本「まはあの島」は、瀬戸内海の長島にある国立ハンセン病療養所「巨久光明園」を舞台に、作者が聞き取った、らい予防法によるハンセン病隔離政策が行われていた当時から現代までハンセン病患者やその家族が偏見や差別のなかを生きてきた体験談をもとに、マンガで丁寧に描かれています。「巨久光明園」には、静岡県出身の方も入所されていて、毎年里帰り旅行にも参加されており、大変縁のある施設でとても身近に感じています。

この本は、誤った知識や周囲の過度な反応による疾病差別のために、家族と断絶しなければならなかった事情など、登場人物に感情移入して、長編であることも忘れて一気に読み進めることができました。里帰り旅行に同行した際に、入所者の方々から苦勞されたお話を聞いた時も、故郷や家族に対する思いは特別なものを感じました。実際にもう帰ることはできないけれど、家があった近くを通りたいとの願われる方もいらっしゃいます。

ハンセン病は隔離政策により、患者の排除だけでなく、社会への正しい情報提供を遮断したために、噂や過度な心配が膨らみ、長い間差別が残りました。未知なものに対する恐怖は誰にでもあります。それが病気なら、なおさら病気になるにたくないとの強い思いから視野が狭くなりがちです。現在の新型コロナウイルス感染症でも同じことが言えるのではないのでしょうか。患者本人だけでなく、家族や医療従事者に対する偏見や差別の報道もありました。私はこの本から、病気になる人が悪いのではなく、本当は誰もが病気になる可能性があり、もしまわってしまっても、安心して治療に専念し、家族も十分にサポートできる環境が望ましいと痛切に感じました。その環境を作るためにも、何気ない噂話をすることも排除や差別につながることを忘れてはいけません。大切なことは、正しい情報のもとに、正しい感染症予防をすることです。

この本の作者の願いは「誰もが間違える可能性があり、過去から学ばねばならない。」ということです。ハンセン病と新型コロナウイルス感染症を比較することはできませんが、この機会にハンセン病の歴史を学ぶきっかけとして、一人でも多くの方にこの本を手にとってもらえたらと願います。



#### \*ハンセン病

ハンセン病は弱い菌による感染症であるが、らい菌は極めて感染力が弱く、感染したとしても発症することはごくまれである。また、仮に発症しても、現在では化学療法等の進歩により早期治療によって後遺症なく治療することができる。

### 伊藤係長(公社)全国労働衛生団体連合会 功績賞を受賞

公益社団法人 全国労働衛生団体連合会は、長年労働衛生関係業務に精励しその向上に功績、貢献のあった方々に対して、毎年表彰を行っている。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京での表彰式は中止となったが、当会浜松健診センター総務課の伊藤係長が功績賞を受賞した。

伊藤係長は、平成12年に事務職員として当会の主要拠点である西部検査所(現:浜松健診センター)の総務課に配属されて以来、21年に渡り一貫して労働関係および請求等の業務に従事してきた。総務としての業務全般に関する知識に精通しているだけでなく、業務そのものに対する精度も高い。また、課内における職員間だけでなく、他課の職員とも円滑なコミュニケーションを図ることができる大変貴重な人材である。

また、業務に対して前向きで真摯な態度は、上司や部下からも信頼を得ており、職場の円滑な運営に寄与している。今後も予防医学事業推進のための活躍が期待され、当協会の理念である「みんなの健康を守る」の実現に向けて、より一層の戦力となっていくと期待している。



## 静岡県予防医学協会 総合健診センター ヘルスポートだより

### 人間ドック受診者数の推移と 年齢別受診者数をお知らせします

総合健診センター・ヘルスポートでは、人間ドックを実施しており、毎年多くの受診者の皆様にご利用いただいております。令和元年度は平成30年度に比べて323人増え、合計12,940人の方々に受診していただきました。



近年の人間ドック受診者の推移は表1のとおりで、年々増加しています。また、令和元年度の年齢階層別ドック受診者数を表2に掲載いたしました。現在、成人の方から高齢の方まで幅広い年齢層の方々にご利用いただいております。当施設では、どの世代の方にも、安心して快適な、ゆとりのある健診が出来ますよう様々な配慮を行っております。今後も、県民の皆様にご満足いただけますよう健診体制の充実と精度の向上に一層努めてまいります。



表1 人間ドック受診者数の推移

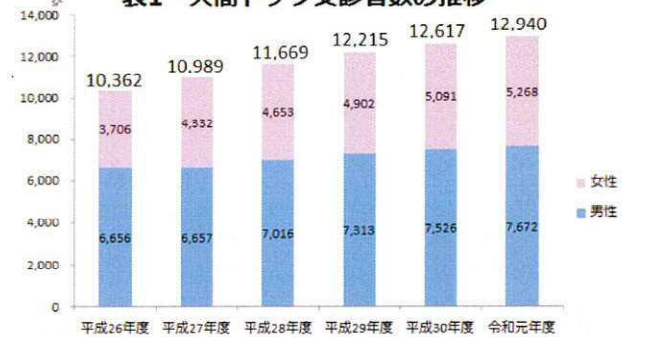
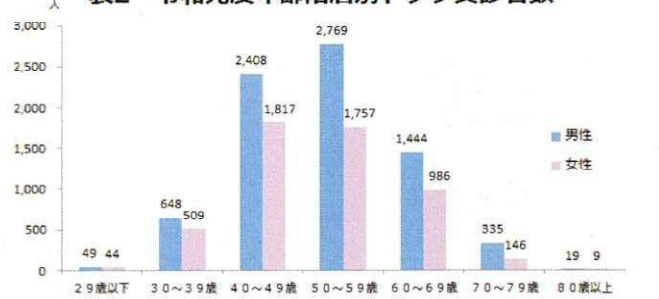


表2 令和元年度年齢階層別ドック受診者数



### 安心・快適な空間でどの世代の方にも快適!

- ・すべての健診が1階のワンフロアで受診可能
- ・冷暖房・空気清浄器・加湿器を完備
- ・吹き抜けと中庭のある空間で気分もゆったり、リフレッシュ
- ・女性専用のリラクゼーションルーム・パウダールームを完備
- ・中庭と南面テラスに囲まれた明るい食事スペース

など、様々なおもてなしで快適に人間ドックを受けられます。笑顔と心配りを大切に、職員一同お待ちしております。ぜひ今後ともご利用ください!



#### <お知らせ>

本年度「学校保健セミナー」及び「産業保健セミナー」(当協会主催)の開催中止について

新型コロナウイルスの感染流行を踏まえ、感染予防の観点から、本年度は当協会主催の両セミナーの開催を中止させていただきます。皆様には、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。